

勝龍寺城

—石垣・瓦・天主の出現—

元龜2年(1571年)、細川藤孝は織田信長の命によって勝龍寺城の築城を行います。その構造は戦国時代の土から成る城ではなく、石垣を築き、建物には瓦を葺き、本丸には天主が聳えるという画期的なものでした。信長の安土築城の5年も前のことです。こうした勝龍寺城の構造を発掘調査の成果や、城郭研究から解き明かしたいと思います。

中井 均氏

- 講師 滋賀県立大学名誉教授
- 日時 令和3年9月1日(水) 13時30分~15時10分 (開場 13時)
- 会場 長岡京市立中央公民館 市民ホール
- 定員 抽選で65名 ●資料代 500円(当日受付)
- 申込み 往復はがきで下記へ。氏名・住所・電話番号・参加人数(1枚3人まで記入可)。複数人で申込む場合は、参加希望者全員の氏名を記入。8月15日(日)必着。18日(水)に抽選結果を郵送

★当日は必ずマスク着用をお願いします。検温にご協力をお願いします。
・発熱や風邪症状など体調不良の場合は参加をご遠慮下さい。

勝龍寺城築城 450年



<勝龍寺城公園(長岡京市)>

- 主催 NPO 法人長岡京市ふるさとガイドの会
- 共催 長岡京市教育委員会
- 後援 長岡京市観光協会

617-0824 長岡京市天神4丁目1-1 3階

長岡京市教育委員会 文化財保存活用課
NPO 法人長岡京市ふるさとガイドの会 高橋



申込み
問合せ

☎ 075-954-3557 FAX 075-954-8500
☎ 090-7366-3107